

景況調査

令和元年7月～令和元年9月期



	業況		売上高		採算(経常利益)	
	7～9月期		7～9月期		7～9月期	
全体	▲ 8.6		0.0		▲ 17.5	
小売業	▲ 46.7		▲ 33.3		▲ 46.7	
製造業	▲ 8.3		▲ 8.3		▲ 8.3	
建設業	0.0		18.2		0.0	
サービス業	0.0		0.0		▲ 26.7	
卸売業	75.0		100.0		50.0	

DI指数	30以上	10以上 30未満	▲ 10以上 10未満	▲ 30以上 ▲ 10未満	▲ 30未満
------	------	--------------	----------------	------------------	--------

※ 調査の結果を示す指標としてDI指数(Diffusion Index(景気動向指数)の略で、各調査項目について、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差引いた数値)を用いた

※ 「業況」「売上」「採算(経常利益)」「従業員」のDI指数は前年同期との比較、「資金繰り」「資金の借入れ難易度」のDI指数は3カ月前との比較

※ 「取引の問い合わせ」「採算(経常利益)の水準」のDI指数は過去との比較ではなく、調査時点での水準を聞いたもの

7月～9月期の調査結果を見ると、小売業は業況、売上高、採算(経常利益)の3指標全てで大雨、製造業は3指標全てで曇りであるが、数値自体はマイナスであった。サービス業は業況、売上高は0.0であったが採算(経常利益)は▲26.7と大きくマイナスであった。それに対して建設業は3指標のどれもが0以上で売上高は18.2と薄曇り、卸売業は3指標とも晴れで業種によって大きく差がついていることがわかる。

